

電子書籍について

1. 従来の教材・紙の書籍に加え、電子教材・電子書籍も対象とします。電子書籍はいろいろな会社が様々なサービスを提供していますので、以下、おもな電子書籍のサービス会社のウェブサイトを紹介します。
2. どの会社のサービスを利用しても構いません(1. 以外でも可能です)。

参考までに(1)と(2)は、国際交流基金(JF)制作日本語教材「まるごと 日本のことばと文化」の電子書籍を扱っています。

3. サービスの利用に際しては、各サービス会社と申請機関(大学、教育機関等)との間で利用に関する契約を締結する必要があります。申請すると同時に、各サービス会社と契約書を締結する準備を進めてください。なお、各サービス会社は、大学や学校等の教育機関と契約書を締結するのが前提のようです。教師会や学会のように、固定された事務局がない場合、契約書を結ぶことが難しい場合があります。詳細は各サービス会社のHPを参照のうえ、直接、各サービス会社に問い合わせてください。

- (1) KinoDen(紀伊國屋書店)

<https://www.kinokuniya.co.jp/03f/ebook/kinoden/index.html>

「まるごと 日本のことばと文化シリーズ」

<https://www.kinokuniya.co.jp/03f/ebook/kinoden/img/KD0187.pdf>

問合せ先：北米 sales@kinokuniya.com

欧州 info@kinokuniya.co.uk

アジア j_bso@kinokuniya.co.jp

- (2) Maruzen eBook Library (丸善雄松堂)

https://kw.maruzen.co.jp/ln/ebl/ebl_01.html

「まるごと 日本のことばと文化シリーズ」

https://kw.maruzen.co.jp/ln/ebl/ebl_doc/ebl_sanshusha_catalog201810.pdf

問合せ先：export@maruzen.co.jp

- (3) JK Books (ジャパンナレッジ)

<https://japanknowledge.com/library/jkbooks.html>

- (4) EBSCO

<https://www.ebsco.com/ja-jp>

和書リスト

<http://www.ebsco.co.jp/ebooks/jpbooks.html>

(5) OverDrive

<https://overdrivejapan.jp/library/>

(6) 手塚治虫マンガ電子図書館（極東書店）

<https://www.igroupjapan.com/contents/tezuka-manga/>

以上